

四国8の字ネットワークの早期実現 ～国土ミッシングリンクの早期解消～

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

四国の自立と発展のために必要不可欠である高規格道路網「四国8の字ネットワーク」の早期実現を図るため、ミッシングリンク（未連結区間）の解消に向けて、以下のとおり提言します。

1. 平成23年度新規箇所予算配分
2. 未着手区間の早期事業化に向けたステップアップ
3. 地域の実情を反映した事業評価の実施

【政策提言の具体的内容】

1. 平成23年度新規箇所予算配分

「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクである以下の区間について、平成23年度に確実に事業化を図り、予算を配分

- 高知東部自動車道 芸西西IC～安芸西IC間の新規事業化
- 窪川佐賀道路 拳ノ川IC～佐賀IC間の新規事業化

2. 未着手区間の早期事業化に向けたステップアップ

阿南安芸自動車道安芸道路は、すでに国土交通省において調査が実施されており、早期事業化に向けたステップアップが可能な状況

- 阿南安芸自動車道 安芸道路の平成23年度の都市計画決定に向けた取り組みを推進

3. 地域の実情を反映した事業評価の実施

- 高規格道路網を構成する道路については、ネットワークの構築を前提とした将来交通需要推計により、事業評価を実施
- 平成23年度予算要求事業の総点検においては、道路が持つ多様な効果や、地域が抱える個別の実情を反映した事業評価を実施

【政策提言の理由】

○四国8の字ネットワークは、四国の骨格を形成する最も優先して整備されるべき高規格道路網ですが、ミッシングリンクが存在する地域では、救急搬送の遅れによる救命率の低下や、豪雨災害時には道路が寸断され、集落や地域全体が孤立する実態があります。

○行政刷新会議の「事業仕分け」では、道路整備事業の来年度予算要求額の10～20%程度圧縮と判定がなされ、また平成23年度予算特別枠の配分決定に向けた政策コンテストでは、「国土ミッシングリンクの解消」がB判定とされており、道路予算が削減されれば未着手区間の新規着手が懸念されます。

【高知県担当課】土木部 道路課